

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シャイニー太宰府		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年4月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年4月25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	パルクールやボルダリングといった運動療育にも着目して外部施設と連携して活動を行っている。(一部活動費あり)	月に2回～4回5領域に合わせ活動内容に偏りがないように心掛け曜日固定せず様々な活動を行っている。	見学・体験時にも参加していただく事も可能。
2	就労・自立を見据えた活動。 活動内容は日によって目的に伴い変更。	日々異なる活動を事前に把握できるように翌月の予定も公表している。 (参加人数によりかつ内容変更あり) 工場見学や職業体験、体験型施設を多く取り入れている。	利用者負担が少ない料金での参加できる場所の提案。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会が確保できておらず 情報共有の場が提供出来ていない。	保護者のニーズを聞き取り不足。 他事業者が行うペアレントトレーニング等の情報提供不足。	保護者参加型のイベントや活動を今後は実施予定。 (親子遠足・夏祭り・パルクールなどの活動参観) 外部施設での専門スタッフからの講話も今後実施予定。
2	事業所の建物が他のフロアは他社様りようでBCPや防災対策等の説明が不足しており見学・体験・契約時に 問い合わせを頂いたことがある。	さわりのみの説明が多かった為 詳細部分まで伝えきれていなかった。	契約時には策定しているものを説明する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 シャイニー太宰府

公表日 令和7年4月30日

利用児童数 年月日

回収数 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8		1		仕方がないが3階のフロアでエレベーターが無い。	エレベーターを付けることはできませんが階段の昇降時は必要時応じてスタッフが必ずサポートします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				子どもとの会話で予定行事の確認をする時楽しそうにしています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9				併用している他事業所様との連携がスムーズだと感じた。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				日々活動が違う事で子どもが楽しみにしてくれています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				9		イベントごとが未実施の為今後開催予定。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				利用する前との違い（成長）を感じます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				毎日楽しんでいます。 利用日の追加を子どもから言われます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
シャイニー太宰府		令和7年 4月30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		ワンフロアの為見通しやすいようにしているがスペースの区切りが100センチほどの棚で空間として仕切れてはいない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	フロア内では段差になる箇所がないように物の配置をしている。	バリアフリーができていない。 3階がフロアになりエレベーターがない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	パーティション等の活用で空間を区切っている。	個別の部屋はあるが、部屋数が少ない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	公式のLINEを設け質問事項や細かな連絡や意見をいつでも受け付けている。	今回初めての保護者に向けてのアンケートの為今後定期的に行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	4	今後の取り組みとして3か月に1度管理者と職員で個人面談を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		これまで第三者を介入させたことがない為今後取り組みとして導入していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	4	外部講師を呼び研修を行っている。	オンラインの研修だけでなく対人を中心に今後行う。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		SNSやインターネットへの公表や事業所内にも張り出している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		作成後は職員全員が目を通すようにしており児発管のみの意見ではなく現場スタッフからの追記事項を出してから保護者に確認している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			話の場はあるが、しっかりと落とし込むために全体と個人の双方から計画の確認をする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3		定期的に事業所のコンセプトの確認が行えていないので、ミーティング以外の場を設ける。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	日々の活動は基本的に被らないようにしているが成長過程を追いたい場合は1か月～3カ月スパンで活動内容を続けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			個別活動の比重が少ない為、個別活動の時間の確保を必要に応じて行う。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝一のミーティングを毎日行っている。 その際に1 ち日の流れの確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終業後のミーティングを毎日行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2		就業の関係もあり全体での確認が行なえていない為 引継ぎ作業の見直しをしている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	活動の一環で、子ども達に活動を選択させている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		医療関係ができていない為 今後は関係医療機関と連携していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7		まだ対象児童がおらずわからない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		他事業所との交流を定期的に行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		これまで未実施の為今後検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	事業所に配布されている資料で有料な情報や対象となるイベントの案内等の配布を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		利用者負担での説明が不足していたことが過去にあった。現在は負担時にはあらかじめ説明するようにしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		利用前（契約時）に必ず保護者要望は伺っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		個別での電話対応や訪問対応も必要に応じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。		7		これまで実施したことが無かった。 今後検討予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		学校や行政や関係機関に対しての情報共有は常に行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		行事やイベント・活動内容の把握はSNSで確認していただいている。SNSの更新・発信も頻繁に行っている。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		これ名で実施したことがなかった。 今後は開催を検討。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3		周知はしているが現時点で未実施の訓練もある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3		周知はしているが現時点で未実施の訓練もある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		クッキングの活動もあるので資格を持ったスタッフが食品管理も行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			契約時以外に行えていないので今後はイベント等の開催時に一緒に行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		オンラインだけでなく対面式で講習と受けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		基本的にはしない形で模索はしている。 どうしてもない時は相談をしている。	